

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 11 回 定例委員会
日 時	平成23年7月22日 自 15時00分 至 16時50分
場 所	沼ノ端スポーツセンター研修室
出 席 委 員	委 員 長 上 原 毅 委 員 鈴木 正 樹 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田 中 亮 太
事務局職員	学 校 教 育 部 長 齊 藤 章 吾 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 長 松 浦 務 学 校 教 育 部 次 長 田 中 章 嗣 総 務 企 画 課 長 戸 村 真 規 指 導 室 長 岩 井 真 二 総 務 企 画 課 総 務 係 長 三 橋 大 輔 学 校 教 育 課 学 務 係 長 高 坂 博 幸 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 田 中 亮 太
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3 教育長の報告
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校は昨日から夏季休業に入った。小学校の方も本日午前中に1学期の終業式を済ませ、明日から夏休みとなる。今年度は東北大震災の影響で、悲しみと混乱のスタートとなったが、本市でも被災地児童の受入れ、児童会、生徒会が東北を励まそうとする様々な取組があった。その内容については、2日(土)に開かれた「子どもを守り心を育てる強調月間」の啓発集会の場でも各学校がそれぞれの活動として紹介していた。なお、中学校の修学旅行は旅行先の変更を余儀なくされたが、1学期最大の行事である運動会、体育祭、さらに中体連、宿泊学習については、延期されることもなく、ほぼ計画どおり実施された。 ・ 6月に実施された第2回定例会について概要をお知らせする。 ・ 学校教育関係では、圧倒的に学校の防災の質疑がされた。耐震化への対策では平成24年までに耐震診断を終了する予定だが、非常に金額もかかるので見極めながら進めていきたいと答弁している。 ・ 学校は高台までどのように避難するのか話題となったが、実際学校も困っている部分もあり、近くの高い所に逃げるとい学校もあれば、周りを見渡せば自分の学校が一番高いという所もあり、これについても危機管理室と連携しながら学校の第二次避難を考えている。基本的には学校は避難所なので、場合によっては2階、3階、屋上も考えなければならない。 ・ 防災マニュアルを阪神淡路大震災の時に作成したが、そのものは避難所の対応や学校の先生の関わり合いとかを載せているが、津波についての想定はあまり載せてい

<p>ないので、見直しの計画はないのか考え、検討を始めている。</p>
<p>・あと、学校の教室に備品を置いておくことが話題になっているので、今後考えていきたい。</p>
<p>・その他に弥生中学校の跡地をどう考えるか、あるいは、養護学校設置の動きはどうか、学校防火管理者の届出が十分ではないという指摘も受け、更に植苗中学校は複式になる場合にどのように対応していくのか、24小学校をこれから作っていくが、初めから地域開放型にできないのかという指摘もあり、事務補・公務補の仕事の在り方も話題となった。項目のみお伝えし、詳細については省略する。</p>
<p>・社会教育関係については、地元の芸術家が活躍できる場を作らないのか、総合体育館の改修プランはどうなっているか、学童保育はどうなっているか、更には中央図書館の指定管理者の評価が低いけどどのように進めていくのか、文化芸術振興計画の進捗の状況はどうなのか、更には明日から開かれるカルチャーアートフェスティバルについての内容はどうなっているか、このようなことが話題になった。</p>
<p>・補正予算の審議では、新第1学校給食共同調理場の債務負担行為が賛成多数で可決された。提案は、調理業務の一部民間委託に伴う経費、配送業務に関する委託経費、新たな業務に伴うシステム化の事業費だが、質疑ではやはり、食の安全は確保できるのか、業者選定の基準、地元業者をどのように見ているのか、今まで説明してきたことが再度話題になった。</p>
<p>・一方で、資料が不足しているのではないかと、経費の算定におかしなところがあるのではないかと、とそうした質問もあったが、今後も委託前には更なる検討を重ねていきたいと考えている。</p>
<p>・次に、7月14日に開催された管内教育長会議について報告する。その内容だが、1つは教職員人事についてであった。高橋道教育長は、平成26年までに北海道の学力を全国平均まで引き上げると議会で表明した。そのために、学力支援の取組、教職員の人事交流、この2つを一体化しなければならない、特に管理職の人事あるいは初任者の最初の異動、そして一般教員の長年勤務者の解消等、これからも教員</p>

<p>人事については積極的に進める、ということが話されている。</p>
<p>・時間外勤務の縮減対策について、先生方は時間外勤務が多いということだが、特に事務処理の改善、部活動の改善、ICT機器の活用を考えていると道教委に伝えた。</p> <p>ただ、道教委と道の高校とのシステム化ということで、ネットでつなげて文書交換をすることだが、これに市町村の教育委員会も参加はどうか、全体的に経費も下がる、と提案されたが、苫小牧の場合は、まだパソコンが1人1台制になっていなく、校内LANもできていない。設備のある室蘭でもそれにすぐ乗かってそれほどの効果はあるのかどうか疑問もあり、なかなか参加しないという雰囲気だった。</p>
<p>・学力向上の取組として、胆振教育局もトリプルアップ事業、小中の連携、地域の連携といった連携力を高める、あるいは授業力を高める、更に基礎力を高める事業を推進することとなった。今回国は学力検査を中止したが、今年度、希望のところには実施するというので、道教委の実施日は9月27日と話があった。文科省では今年度こういった形になったが、来年24年度は理科を加えた抽出校プラス希望校方式、更に25年度については、きめ細かな調査の実施とうたっている。きめ細かな調査という言葉の意味が、また全校対象とした調査に戻るかは、まだ正式な表明はない。</p>
<p>・5月に道教委は、全道でいじめ調査を実施した。その結果、胆振管内で今もいじめられているという回答が約1,000人あった。その中で学校が認知しているのは、230人ほどであった。その90%はその後解決しているが、残り1割(20人)については、9月に行う追跡調査で確かめる予定である。</p>
<p>・道教委は、民間企業に学校を支援いただきたいということで、家庭教育サポート企業制度を行っていて、この事業を行っている自治体は胆振東部にはあまりなく、室蘭、伊達が企業との協定を結んでいる。各市町に対し2つ3つの企業を推薦してほしいと道教委はいつており、協力していただければいい会社を挙げていきたい。</p>
<p>・長期休業中の服務について、毎度言っているが、自宅研修はないので、学校の管理</p>

職が適切に判断して承認してほしい、あるいは自宅での休養と職務に関係ないものは不当である、あるいは研修することに対してまず精査をしてから認める、終わってからはきちんと報告書を提出させる、こうした説明を道教委はしていた。学校は夏季休業中も本来の業務を継続しており、市教委の研究所の方で研修講座を用意しているので、勤務の記録をきちんと残しながら、研修講座や研究会に参加するなどして、先生自身がこのチャンスを生かしながら資質向上を目指すよう私どもも期待しているところである。
・最後にこれからの行事関係だが、明日からカルチャーパークアートフェスティバル文化公園芸術祭が開催される。この一環としてPMF修了生の演奏会、更に27日は本当のPMF演奏会がある。8月に入ってから2日から、6回目となる選抜高等学校アイスホッケー競技大会が開催される。また、この期間中は恒例の港まつりもあり、実行委員会から審査員を依頼されている委員もいる。また、博物館では既に16日から特別展で「鳥の世界」が始まっている。更に中学校の教科書用図書検討委員会も始まっている。我々の学習会も予定しているのでよろしくお願ひしたい。
(上原委員長) 報告について質問があればお受けする。
(佐藤守委員) 夏休みに各小中学校で補習授業を取り組むと聞いているが、その状況について、何か分かれば教えていただきたい。
(指導室長) 数はまだ集約していないので、小学校が何校かはお答えできないが、ほとんどの中学校が補習を計画していると聞いている。小学校も昨年に比べると計画している学校が多くある。
昨年度から学生ボランティアを活用する事業が北海道教育委員会で行われていて、今年からはその経費を道教委で持つことになり、急きょ募集を取ったところ、苫小牧西小学校と拓勇小学校がその学生ボランティア制度を活用して、募集を行うという報告を受けている。中学校では啓明中、緑陵中が学生ボランティアの活用を計画しているという報告を受けている。併せて、市の教育支援ボランティアの活用も今

日から緑陵中学校で始まった。拓勇小学校でも活用すると連絡を受けている。	
(上原委員長)	他に御質問等があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)	
4 議 案	
議案第1号 苫小牧市立幼稚園園則の一部改正について	
(学校教育部長)	文部科学省では、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、公立私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的とし、入園料及び保育料を軽減する就園奨励事業を実施している地方公共団体に対して、所要経費の一部を補助している(約3分の1)。苫小牧市は、市立幼稚園に対して就園奨励事業を実施しており、毎年度文科省からの通知を基準として、苫小牧市立幼稚園園則に基づき該当世帯に対して減免措置を行っている。今年度についても、文科省から補助限度額が示されたので、これに準拠し、苫小牧市立幼稚園園則別表の減免限度額の改正を行うものである。
議案第1号中の新旧対照表を御覧いただきたい。世帯状況や園児数などにより、減免限度額が設定されている。下線部分が改正となり、改正後の減免限度額は現行と比べおおむね1000円の増額となっている。なお、苫小牧市立幼稚園園則の一部改正に当たり、苫小牧市行政手続例第37条に基づき6月15日から7月14日までの1か月間、学校教育部総務企画課のホームページ及びはなぞの幼稚園にて意見公募の実施したが、意見の提出はなかった。	
(上原委員長)	何か意見や質問があればお受けする。
(一同「なし」の声)	
(上原委員長)	特にないようなので、原案どおり承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)	

－原案どおり承認－

議案第2号 平成23年度教育委員会点検・評価報告(案)について

(学校教育部次長) この報告書は、地教行法が平成19年6月に改正され、教育委員会の権限に属する施策の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことを義務付けられたことにより作成しているものである。報告書は、議会に提出し、公表することとなっている。その趣旨は、教育に関する施策の管理及び執行状況を点検・評価し、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たすことである。法の施行が20年4月からなので、今年で4回目の作成になる。今回報告した内容は、平成22年度教育行政執行方針に掲げられた主な施策等を対象としている。以下「平成23年度(平成22年度対象)教育委員会点検・評価報告書(案)」の各項目を説明。

本件につき御承認いただいた後、苫小牧市PTA連合会の会長と副会長、苫小牧市文化団体協議会会長、苫小牧市体育指導委員会委員長の4人から御意見、御助言をいただく予定になっている。今後、点検評価においていただいた御意見等を参考とし、教育委員会の行う事業の改善を図って参りたいと考えている。

(上原委員長) 質疑の方法だか、ボリュームがあるので番号ごとに行う。

まず、10ページの1-1【社会で生きる実践的な力の育成】について、何か意見や質問はあるか。

(佐藤守委員) 課題がある場合に△がついているが、その中で△がついててもAだったりBだったりするのは、ニュアンスが違ってくるのか。

(学校教育部次長) 評価は、課題ということだけではなく、今後どのくらい施策を継続していく必要があるかを勘案しており、その必要性が高いものはAとしている。

(上原委員長) 他に何か意見や質問があれば、お受けする。

<p>私の方から1点質問したい。情報教育の中の1番目「情報通信技術(ICT)を活用した情報活用能力の育成」の前年度の担当が学校教育課だったと思うが、指導室に変わったのか。</p>
<p>(学校教育課次長) いわゆる機器を導入するとかそういう部分は学校教育課の担当だったが、教育の「中身」の問題になったので指導室に変えている。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) 次に13ページの1-2【豊かな心と健やかな身体(からだ)の育成】について、何か意見や質問はあるか。</p>
<p>(佐藤郁子委員) △の課題の取扱いだが、①「体力向上及び健康指導」の育成用ハンドブックやプリント(平成23年度完成)とあるが、22年度と比較して新たに作ったのか。②「いじめ・不登校・暴力行為の対策」の「新しい形のいじめ」に対する取組につき、課題を解消するための具体策はあるのか。</p>
<p>(指導室長) ①は保健体育研究委員会の2か年にわたる研究で、22年度については基礎資料集め、基礎的な研究、それを踏まえ23年度はハンドブック等の形で仕上げるということであり、課題というより見通し的な課題である。②は、今はインターネットや携帯電話を活用したいじめが新しい形のいじめといわれている(プロフを荒らしたり、チェーンメールを送ったり、掲示板に誹謗中傷を書き込む)。これに対する取組としては、道教委が中心となりネットパトロールを行っている。苫小牧でも同じようにパトロールを、というのが課題だが、機材の用意であるとか、どんどん子供たちがいろいろなサイトを活用してもぐら叩きのような状態であるとかで、課題として大きな問題であるとして掲載した。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>私の方から1点質問したい。「読書活動」と「健康教育」、両方の項目を前年度と</p>

<p>比べてみたが、前年度は2つとも評価がBだったが、今年度はAに上がっている理由は何か。改善されたところ等があれば教えていただきたい。</p>
<p>(指導室長) 「蔵書の充実」の部分だったと思うが、AにするかBにするか悩ましいところであった。蔵書率というのは、その年にどのくらい本を廃棄するかによって変わってくる。古い本を取っておけば、蔵書率は上がっていく。だが、そこであまり古い物を取っておいても仕方なく、本来タイムリーに廃棄して、新しい物を入れていけるのが一番良い。必ずしも蔵書率が高いからといっていい状況かといえば、そうともいえなく、難しい部分である。22年度については、比較的、補助金を使い、整備できた。そういうことがあってBからAにしたが、ここに書かれているとおり、いかにタイムリーに良い本をそろえていけるかが問題で、AになったりBになったりすることはあるが、常に本を入れていこうという姿勢が高いということで、今回はAにさせていただいた。</p>
<p>(教育長) 読書感想文については、学力の向上に効果があることを踏まえて、各学校が真剣に取り組んでいる。ほとんど市内の学校は、読書感想文に取り組んでいる。苫小牧は割と進んでいると思う、これからも重要だという認識でいる。</p>
<p>(指導室長) 読書感想文の補足だが、全国学力学習状況調査の中にも読書に関する質問があり、ここも調査の中では数字が上がっている。</p> <p>健康教育だが、性教育については、学校保健計画や性教育の指導を受ける体制が整備されていることを踏まえて、Aとさせていただいた。薬物乱用防止教育についても、全道的にも苫小牧は進んでおり、文部科学省では薬物乱用防止教室は、中学校においては必ず1回以上行うことになっていて、小学校においても実態に応じて実施するよう努めるという努力義務になっているが、本市では小・中学校ともに全ての学校で薬物乱用教室が実施されていることを踏まえ、Aにさせていただいた。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) 次に15ページの1-3【信頼される学校づくりの推進】について、</p>

何か意見や質問はあるか。
(佐藤守委員)「学校理解を深める情報発信」で「学校だよりやホームページを活用して、学校経営や教育活動の周知に努めた。」とA評価になっているが、毎回言うように、中学校のホームページが全然活躍していないということを課題の中に大きく書いていただいて、中学校のホームページを活躍させていただきたい。ちゃんと活躍しているところもある。
(指導室長) おっしゃるように、ホームページの活用について、学校によってムラがあるのは把握している。ホームページの有効活用というのは課題としてあることを認識し、△とした。
(上原委員長) 今の件だが、ホームページの内容につき更新状況に学校差が見られるというのは、前年度は課題として入っていた。私は、評価がBからAに変わったので、充実したのかと思った。しかし、先程の話のとおりであるのなら、課題ということで追加していただく。
他に何か意見や質問があればお受けする。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) 次に、17ページの1-4【地域全体で子供を守り育てる体制づくりの推進】について、何か意見や質問はあるか。
(佐藤守委員) 「安全対策の推進」で、「関係機関との連帯協力の推進」は課題がないのにB評価になっている。良くなっているなら、Aになってもいいのではないか。
(指導室長) 以前と比べるとPTAボランティアとの連携は強化されているが、今の状況で十分と考えてはおらず、もっと充実させる余地があると認識でいる。
(教育長) マップ作りがまだ今1つ進んでいないところがある。進んでいる学校とそうではない学校では差が大きい。マップ作りの講習会等を行っているが、取り組み方としてはまだ足りない。我々は先生対象のマップ作り講習会を開いているが、実際にどの程度認識が深まっているのかというのは、不十分ではないかと思う。

(佐藤郁子委員) 各学校の先生は、地域安全マップの必要性は感じているのか。
(山田教育長) そう思う。各学校の地域の実状というのは具体的には分からないが、非常に人口膨張地域だとか、知らない人が多いというところでは安全マップ作りは盛んだが、比較的落ち着いて地元の住民が昔からいるというところは、安全マップよりも交通事故の起こりやすいところはないかとか、不審な家、壊れやすい家はここにあるといった危険度マップ的な扱いをしている部分もある。この場合の安全マップというのは、子どもの目線で安全かどうかというものであるはずだが、どちらかといえば大人の目線で作っている部分があるのではないかと思うので、気を付けながら進めてほしいと指導していく。
(佐藤郁子委員) これからの研修によっては、内容が変わっていくのか。
(山田教育長) 是非変えてほしいと思う。集団下校は学期の初めに必ずやっているが、その時に子どもの目線でここが危ないと考えさせながら集団登下校する。そして、そのことを自分達で模造紙などに書いて作ってみるとか、そういう取組が必要になってくるだろう。
(佐藤郁子委員) 地域と学校の大きさによって、随分問題も変わってくると捉えてもよろしいか。
(上原委員長) 今、各地域で自主防災会というものを組織をしているが、いろいろな訓練をする中で図上訓練なども行うのだが、その時にこのマップが非常に役に立つ。避難するにしても、危険なところを通らない（例えば塀が崩れそうだとか）、恐らく通学路にも関係してくるので、そういった面で相乗効果はある。防災、防犯の点も話をしていくといいのではないか。
(指導室長) 安全マップの件だが、各学校や教師から見た校区の安全を点検する地図はあるのだが、子どもの視点でマップを作る中で危機管理意識を高めるというマップ作りの活動は、更に進めていかなければならない。もう1点の地域安全ボランティアだが、具体的な取組内容に書いてあるとおり、小学校22校なので、樽前小学校以外は全部組織されている。中学校もほとんどの学校が組織されているが、実際

<p>の活動となると、やはり学校による。拓勇小学校は活発に登下校の安全対策の取組が進んでいるが、ようやく組織ができたところの中には、活動自体が実際には数が少ないところも見られるので、組織した以上はうまく活用して更に連携し、安全対策を講じる課題があるということを指導していきたい。</p>
<p>(上原委員長) △を入れておいたほうが良いと思う。</p>
<p>(佐藤守委員) ぱっと見たところ、他の項目では△があつてBなのに、ここだけ何もないのにBなのは見た目に変な感じがする。</p>
<p>(上原委員長) では、安全対策に課題を付け加えるということではよろしいか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(上原委員長) 次に、18ページの2-1【生涯学習の推進】について、何か意見や質問はあるか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) 次に、19ページの2-2【青少年の健全育成】について、何か意見や質問はあるか。</p>
<p>(佐藤守委員) 「家庭教育の支援」の「子育て学習会の実施」は、毎年行われており、去年もそうだったと思うが、全14会場で8名しか参加していないというのは、やはり開催の仕方に問題があるのではないか。実施することは大変いいことであるので継続していただきたいが、14会場で8名という事は、0人という会場もあったのではないか。意味がなくなってしまうので、大幅な改善をしていただきたいと思う。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 確か、去年は6会場3回ずつ合計18回会場、合計19人という数字で、今回は更にそれを下回った。前回は夜も実施したが、なかなか人が集まらないということで夜はやめ、各会場で7つの児童館があるので、そちらで日付を決めて年に2回実施されていた。小学1年生から中学生の父母を対象とし、学</p>

校やいじめ相談など重複する相談窓口もあることから、なかなか児童館に直接来て
相談される方が少ない。児童館では保健師による幼児の子育て相談を行っているが、
そういったことにはとても父兄が集まるということで、学校に通いだと家庭教育
の問題だけを児童館に相談に来るというシステムが難しいのかと思う。乳児を抱え
た方は就学の子どもも抱えている可能性もあるので、子育て部門と協調した形で取
り組めないか考えている。
(佐藤守委員) 相談ある方は来てくださいというと、行く人はみんな相談があるので
はと勘繰られ、行きづらいと思う。行った人が変な目で見られたりしないでもない
ので、その辺も考えて実施してくれたらいいと思う。情報交換みたいな形で集まり
やすくしていただきたい。
(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) 次に、20ページの2-3【文化芸術の振興】について、何か意見や
質問はあるか。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) 次に、21ページの2-4【社会教育施設の充実】について、何か意
見や質問はあるか。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) 次に、23ページの2-5【スポーツの振興】について、何か意見や
質問はあるか。
(鈴木委員) ハイランド屋内リンクは存続するのか無くなるのか、いつくらいにはっ
きりするのか。確かにお金がかかるのかもしれないが、万が一無くなったとしたら、
今度できるとなると大変だと思う。おそらくできないのではないかな。今あるものを

<p>何とか存続できないものか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 市長は、9月議会には結論を出すべく協議するとのことであった。ブライン管により食塩水を回しているが、3年連続くらいで折れるということと、40年くらい経つので冷凍機もアンモニアの関係で不具合が出ている。これらのことを総合的に勘案して、市長が結論を出す。それまでは時間をいただきたい。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 「氷上スポーツ育成事業の展開」のエンジョイスケートスクールは、参加人数が増えている。ただ、受入れが前年度の体制のままであるため、たくさん来過ぎて断ったと聞いている。開校式、閉校式は、大人数でできなかったということであるので、せっかく伸びてきて大変いいことなので、増加しても対応できるような体制をお願いしたい。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) その話は伺っているが、指導する体制がなかなかとれないというのが課題としてある。体育協会の方が講師をしているが、スケート連盟の人にも御協力いただいている。しかし、なかなか日中御協力いただける講師の方々の都合がつかない。その辺は、是非工夫してたくさんの方に来ていただきたいということをお願いをしている。</p>
<p>(佐藤守委員) スケートができる学校の先生を発掘していただき、エンジョイスケートスクールにも行っていただいて、かつ、その先生方に小学校の各チームに入ってもらえば、ますますいいのではと思っている。</p>
<p>(鈴木委員) 先生が出て来られるようになったとすると、役員が70過ぎの方とか高齢の方ばかりなので、例えば協議会が金曜日からは始まるとなると、若い方が役員として来られない状態になる。できれば1人でも2人でも、学校の先生にスクールに入ってきていただきたい。</p>
<p>(上原委員長) こういう声が多かったということで、よろしくをお願いしたい。</p>
<p>(上原委員長) 全体を通して何か意見や質問があればお受けする。</p>

(佐藤郁子委員)	16ページの「学校施設にある煙突内部の調査」のアスベストは廃止ということか。
(総務企画課長)	調査業務が終了したということである。
(教育長)	アスベストの問題だが、煙突の中にまだ固定されているものは、そのままそっとしておいている。事前にどういう状態になっているかという調査を終了した。危ないところは修理している。
(スポーツ生涯学習部長)	市の方で、毎年4本から5本ずつ、学校だけではなく他の公共施設も含めて、優先順位を決めて改修していくことになっている。
(鈴木委員)	今回の災害で残骸を片付けているのを見ると、アスベストの飛散が結構問題になっているようだ。万が一何かあった時に問題なるのではないか。そうならぬよう、しっかり見ていただきたい。
(佐藤守委員)	どこで使われているかは把握しているのか。
(スポーツ生涯学習部長)	年に2回、春と秋と定期点検をしている。
(上原委員長)	他に何か意見や質問があればお受けする。
	(一同「なし」の声)
(上原委員長)	他にないようなので、先程指摘があった2点について課題に追加していただくことを含めて、原案を決定することよろしいか。
	(一同「異議なし」の声)
	－原案どおり承認－
	議案第3号 平成23年度苫小牧市統一学力検査の結果と考察について
(指導室長)	本検査は今年度初めて実施した学力検査であり、4月19日(火)に一斉に行った。対象の児童、生徒は小学校5学年、中学校2学年の児童、生徒である。

<p>教科については国語科、算数・数学科の2教科の学力検査を実施した。実施した検査については、全国学力調査集団準拠評価といい、簡単にいうと偏差値で状況を考察する検査となる。以下「結果の考察（小学校・中学校）」及び「まとめ」を説明。</p> <p>本件の承認後、本市の検査結果を、2学期早々に学校を通して保護者に対して通知する文書を配布するとともに、ホームページで公表をする予定である。また、学校から各校の結果と考察を保護者に知らせることとなる。なお、個人の成績表は既に配付済みである。各学校には、その実態や課題に応じて組織的かつ具体的な取組を進め、その改善を図るよう指導していきたい。</p>
<p>(上原委員長) 何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 今回は全国統一ではないので、業者のテストによるものだと思うのだが、この全国の平均というのは、同じテストを全国で行っているのか。何校くらいが受けているのか、数を知りたい。</p>
<p>(指導室長) 過去の膨大なデータを持っており、問題が毎年変わるというのではなくて、基本的な問題は変わらない学力検査なので、そういった過去のデータから全国平均がどのくらいになるということで偏差値が示される。</p>
<p>(佐藤守委員) ということは、毎年同じ問題なのか。</p>
<p>(指導室長) 大きくは変わらない。</p>
<p>(佐藤守委員) 同じ問題だと、分かってしまうのではないか。</p>
<p>(指導室長) 回収をして使われないようにしている。ただ、基本的には変わらないが、部分的な数値を変えている。</p>
<p>(教育長) 全国比較は変わらない問題で行い、文科省で実施しているものはその都度新しい問題を作っている。黙って持っていれば、次の年に漏れてしまうので全部回収している。苫小牧だけではなく、各地で他の町でも行っているの、大体信用性はあると思う。</p>
<p>(指導室長) 付け加えると、講評も全国の文科省が行っている検査のコメントより非常に詳しいコメントで、個々の保護者にお知らせしてある。評定がついており、小</p>

<p>学校3段階評価、中学校5段階評価で評価されている。全国の中で自分の子どもはこの辺にいる、というのが分かる。</p>
<p>(佐藤郁子委員) いただいた講評について、「もっといいはずである。」という方はいないのか。</p>
<p>(指導室長) 今のところはいない。これはあくまで1つの検査であり、これで全て100%学力が分かるわけではなく、この辺は誤解のないように、保護者に知らせる際にもおおよそそのお子さんの傾向が分かる、学校や市の傾向も分かるものであると知らせている。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(上原委員長) 考察の内容とか表現を見てみると、小学校、中学校とも同じような傾向だと思う。例えば、小学校時代に培ったものがそのまま中学校で引きずられていくというか、継続されていくようなことがあるのではないかと思う。小、中ともに同じような傾向が出たことをどのように捉えているのか。</p>
<p>(指導室長) 昨年度までは全国学力学習状況調査で、小学校6年生と中学校3年生を対象に行われたが、先程説明したように、5年生と中学校2年生に下げてもほぼ傾向は変わらなかった。委員長が言うように、積上げがしっかりできていないという1つの実態だと思う。何年生あたりのところで積残しが増えていくのかというところは、今後調べていかなければならないと考えている。先月、文部科学省の調査官が豊川小学校に来て学力問題について話したが、やはり調査官も、「1年生の段階では偏差値でいうと真ん中のあたりに多く固まっていて、それが2年3年に進むに連れだんだんと広がって行って、2極化が進んでいく。どこが分かれるポイントとなるのかしっかりと把握するべきである。」と述べていた。今回の結果を見ると、5年生の段階では、既にこのような結果が見えてしまっているのでも、更に3、4年生の段階で本市の課題と見られる教科をしっかりと進めていかなければならない。</p>
<p>(上原委員長) 先程の点検評価の中にも、学力向上に向けた実践的な研究で、家庭・地域との連携というのが挙げられていた。この評価はBだったが、先程話があった</p>

<p>ように、例えば、家庭学習の手引きとかを家庭に配布し、この結果についても保護者に知らせるといことは、それは分かるが、問題は保護者の意識だと思う。現状をどう捉え、自分達の子どもに対しどうしなければならないのか、子どもの意識をどう捉えているのか、その辺の保護者の意識はどうか。</p>
<p>(指導室長) 家庭の学習に対する取組というのは、残念ながらそれほど高くないという感触がある。宿題といえるものを保護者の方に伝え、学校の方で丁寧に対応しているが、それだけでは保護者の自覚、認識を高めるということを待つ余裕はないだろうと考えている。苫小牧の学力を上げるためには、学校がイニシアティブをとって、家庭を巻き込まなければならない。対等に連携するというよりも、中心になるのが学校となる。そうしなければ、なかなか家庭の教育力が上がるのを待つという状況にない。小、中学校の校長先生にも、学校が主体的に家庭を巻き込んで取り組むようお願いしている。補修や放課後の学習とか家庭学習、宿題についても、学校はどんどん家庭に知らせ、ある程度のルールを学校側が引いていく対応が必要となる。</p>
<p>(上原委員長) 他に何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、原案どおり決定してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>議案第4号 苫小牧市公民館運営審議会委員の委嘱及び苫小牧市図書館協議会委員の任命について</p>
<p>議案第5号 苫小牧市博物館協議委員の委嘱について</p>
<p>議案第6号 教育委員会職員の処分について</p>
<p>(議案第4号から第6号は人事案件のため、秘密会とする旨議決する。)</p>

－原案どおり承認－

5 協 議

協議案件なし

6 そ の 他

な し

7 委員会閉会の宣言（上原委員長） … 16時50分